令和6年市政主要ニュース

・倉吉ふるさとムービー『ありがとう』完成（2月末）

倉吉市くらしよし未来アドバイザーに委嘱した羽原大介氏の脚本・監督のもと、市民エキストラの皆さまにもご協力いただいた倉吉の魅力を発信する観光PR動画が完成しました。5月30日には羽原氏をお招きした上映会を鳥取看護大学・鳥取短期大学 交流センターにて開催しました。

・2つの倉吉博物館特別展が好評を博す（3月～5月、9月～10月）

倉吉博物館において、市制70周年記念特別展「匠たちのTSUBAKI・椿・つばき」（3月2日～5月6日）を開催し、市の木「椿」をテーマにした優れた作品約70点を展示しました。また、同館開館50周年記念特別展「大御堂廃寺～仏教の華ひらく はじまりの寺」（9月1日～10月14日）を開催し、山陰地方最古級の古代寺院・大御堂廃寺の出土品と都の遺物を紹介しました。椿絵展では、超有名な作家の作品に感嘆の声があがり、大御堂廃寺展では、地域の誇りとなる文化財に理解が深まりました。

・地域・市・県が連携し地域の買い物拠点「関金ストア」開店（3月31日）

地区内唯一のスーパー閉店を受け、関金地区振興協議会が、倉吉市と鳥取県の支援を受け、関金総合文化センター1階ロビーに地域の買い物拠点となる「関金ストア」を開店しました。

・新しい「小鴨小学校」「久米小学校」が開校（4月1日）

3月に閉校した小鴨小学校と上小鴨小学校が統合し、新しい小鴨小学校が開校しました。同じく北谷小学校と高城小学校が統合し、久米小学校が開校しました。

・千葉県松戸市と森林整備の実施に係る協定を締結（8月22日）

松戸市と本市が連携し市内の森林整備を実施することによる二酸化炭素吸収量増加分と松戸市が発生する二酸化炭素排出量とを相殺するカーボンオフセットの仕組みにより、森林の保全及び地球温暖化対策の推進と、相互の交流の促進を図ることを目的とする協定を締結しました。

・防災放送アプリの運用開始（10月1日）

スマートフォンで行政放送やコミュニティ放送が確認できるアプリの運用を開始しました。災害時の情報伝達の多重化を図ると共に、大切な情報の聞き逃しを防ぐことが可能となりました。

・関金地区で予約型乗合タクシー実証運行スタート（10月1日）

中山間地域の抱える買物環境・移動手段の確保等の課題を解決するため、既存のバス路線を見直し、新たに「予約型乗合タクシー」の実証運行を開始しました。

・ねりんピックはばたけ鳥取2024倉吉市交流大会開催（10月19日～21日）

全国から総勢約800名の選手・代表者等を迎え、卓球、バウンズボール、ウォークラリーを市内で開催。応援者等もあり各出店ブースも盛況のうち競技も事故等無く盛会に開催できました。

・倉吉西瓜販売額14億円突破（10月）

令和3年度からJA鳥取中央倉吉西瓜生産部会が中心となり立ち上げた「販売額16億円生産振興プロジェクト」において、新規就農者の確保、栽培技術の向上、耕作放棄地の再生による栽培面積の拡大、最先端の選果機による品質管理等に取り組んだ結果、倉吉西瓜の販売額が過去25年間で初めて14億円を突破。今後も16億円を目標に栽培技術の向上を図ります。

・県立美術館開館を目前に控え機運いよいよ高まる（通年）

県立美術館開館を令和7年3月30日に控え、県立美術館の来場者が倉吉パークスクエア全体を周遊する環境を整えるため、集いの森（カフェ&ショップ、ランドスケープ）や駐車場の整備、図書館や歩廊の塗装、市道の整備、バス停の新設などの工事を行いました。開館半年前となる9月28日にはカウントダウンイベントが開催され、6,000人の来場者で賑わいました。